

令和元年度一般会計予算の上半期における執行状況（概要）

令和元年9月30日現在（上半期）における一般会計の予算規模は、24,615,074千円（繰越明許費を含む。）で、前年同期の22,330,839千円と比較しますと、2,284,235千円の増となっています。

この予算を執行するに当たっては、

- （1） その経費が既に執行の時期にきているか
- （2） 内容や方法は適切であるか
- （3） 予定された特定財源の確保の見通しはどうか

などについて十分留意し、経費の効率的運用と収支の均衡に努めています。

9月末日における収入済額は、9,911,155千円で、前年同期10,431,100千円と比較しますと、519,945千円の減となっています。

収入済額の大半は市税3,013,537千円、地方交付税3,784,291千円、国庫支出金1,498,114千円等が主なもので、また、収入済額の調定額に対する収入率は、64.0%（前年同期68.2%）、予算現額に対する収入率は、40.3%（前年同期46.7%）となっています。

一方、歳出の執行額は、8,791,731千円で、前年同期8,140,135千円と比較しますと、651,596千円の増で、執行率35.7%（前年同期36.5%）となっています。